



© 20240518 寺子屋朝日 for Teachers ウェビナー
「今こそ知りたい教育ファシリテーションの実践」

私と ファシリテーション

東京学芸大学 藤村 祐子

INTRODUCTION

Yuko FUJIMURA

東京学芸大学

先端教育人材育成推進機構 准教授

高校探究プロジェクト事務局

URL : <https://g-tanq.jp/>



2000

大学院卒業後，高校理科（化学）教諭として，滋賀県立米原・日野・彦根東高等学校勤務

2015

滋賀県総合教育センター・研修指導主事

研修企画・運営，理科教育(探究・評価),学級経営に関わる研究に携わる。

教育コーチング・ファシリテーションに出会う。日本青少年育成協会の中級コーチを取得。日本ファシリテーション協会に所属。

2019

滋賀県立虎姫高等学校（SSH・IB認定校）に配属。

国際バカロレア ディプロマプログラム（IBDP）Chemistry・TOK

2030 SDGsカードゲームファシリテーター

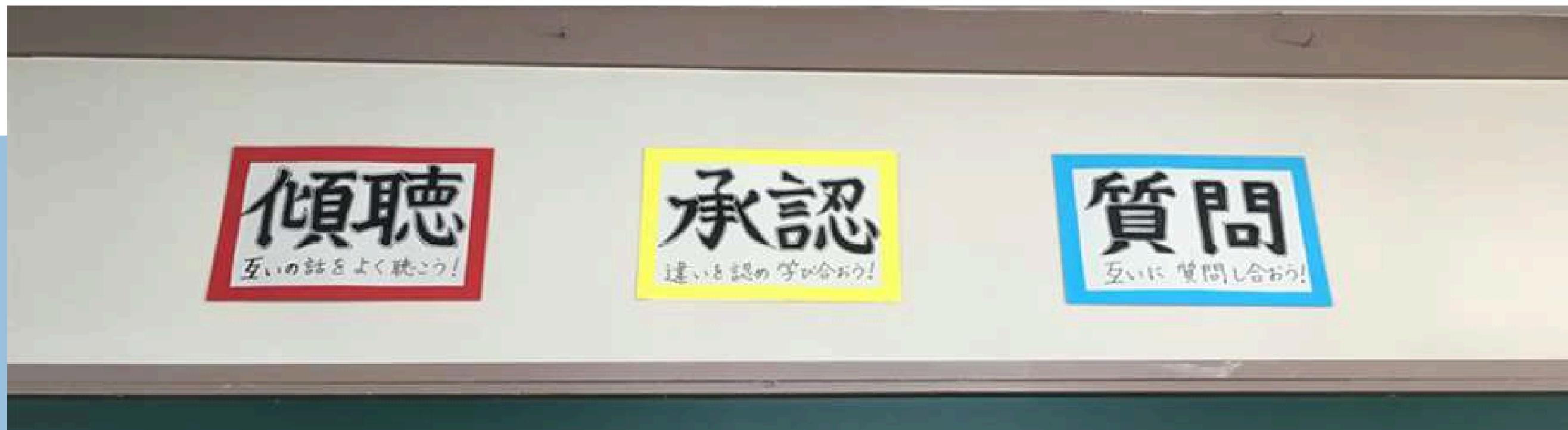
各種研修・セミナー講師・校内研修会等実施

2021

「高校探究プロジェクト」にて，ワークショップ型教員研修プログラムの開発や各教科における探究的な学びの実現に向けた授業づくりワークショップ等の企画・運営

教育学部生対象 **「学びを支えるファシリテーションの技法」** 授業担当

高校生への講演・模擬授業等，各教育委員会・学校等にて研修講師



HR & 化学の授業 グランドルール

傾聴

•お互いの話をよく聴きましょう！

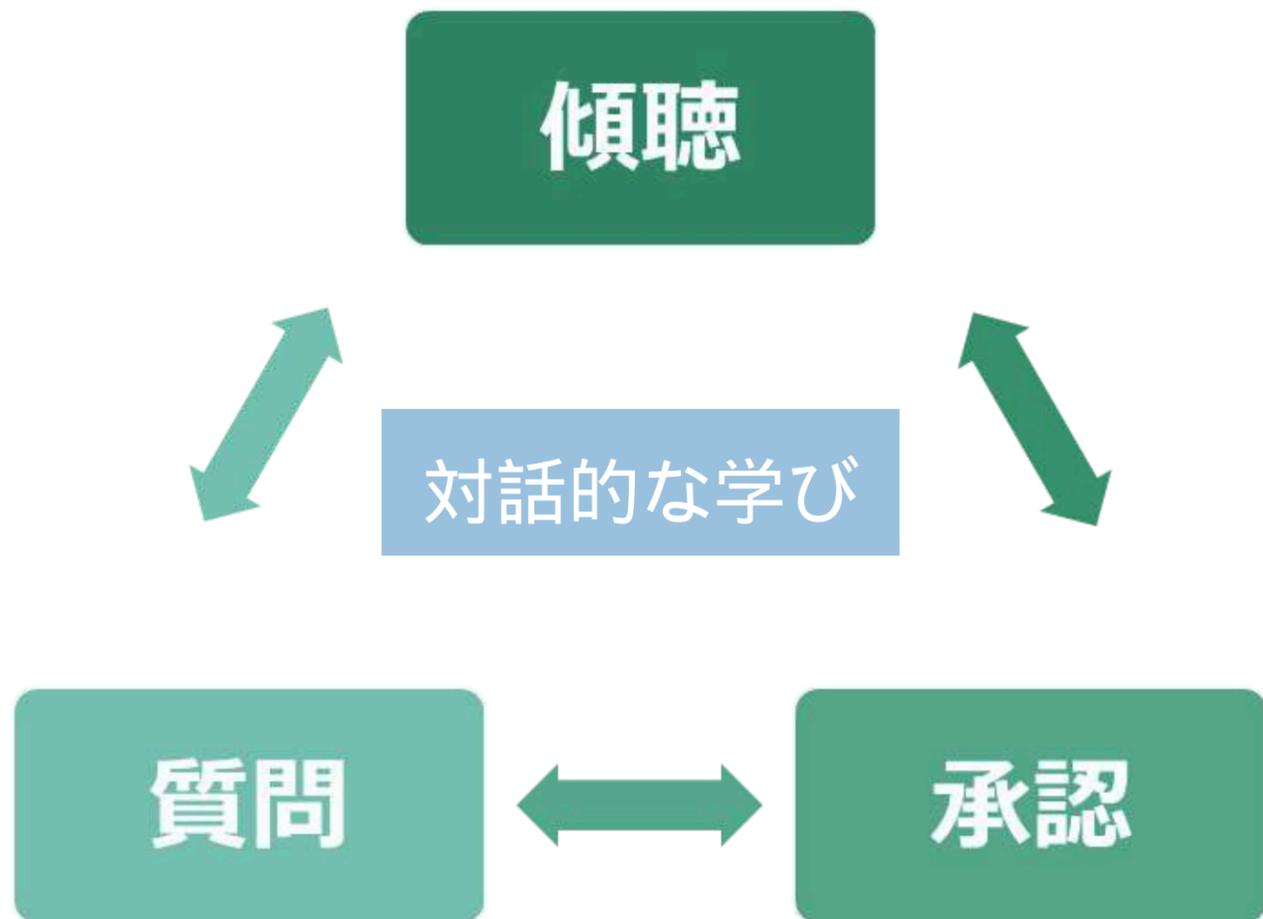
承認

•違いを認め、学び合いましょう！

質問

•お互いに興味関心をもち、質問し合いましょう！

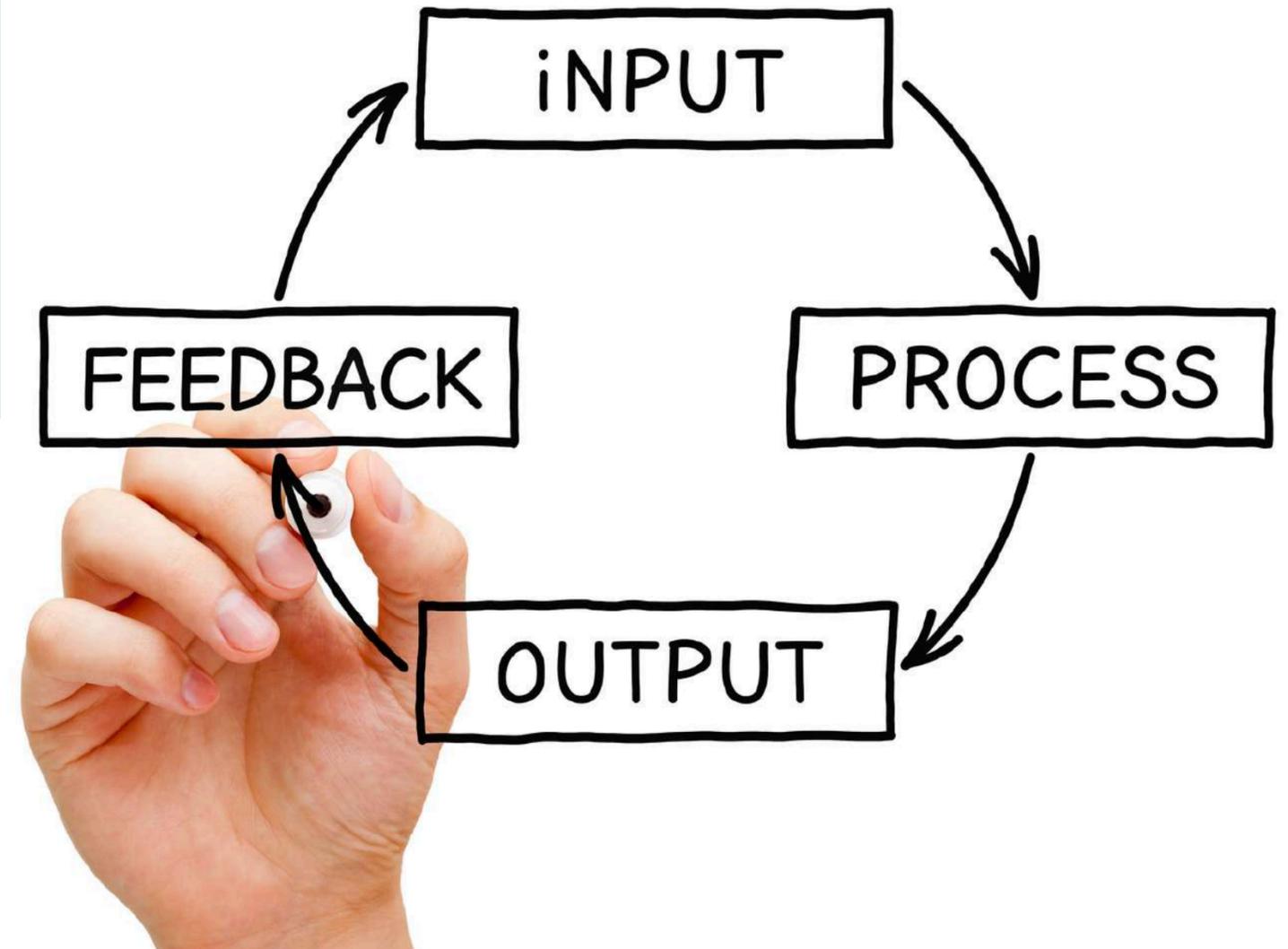
「主体的・対話的で
深い学び」
「探究的な学び」



主体的な学び

自分事にする，当事者意識

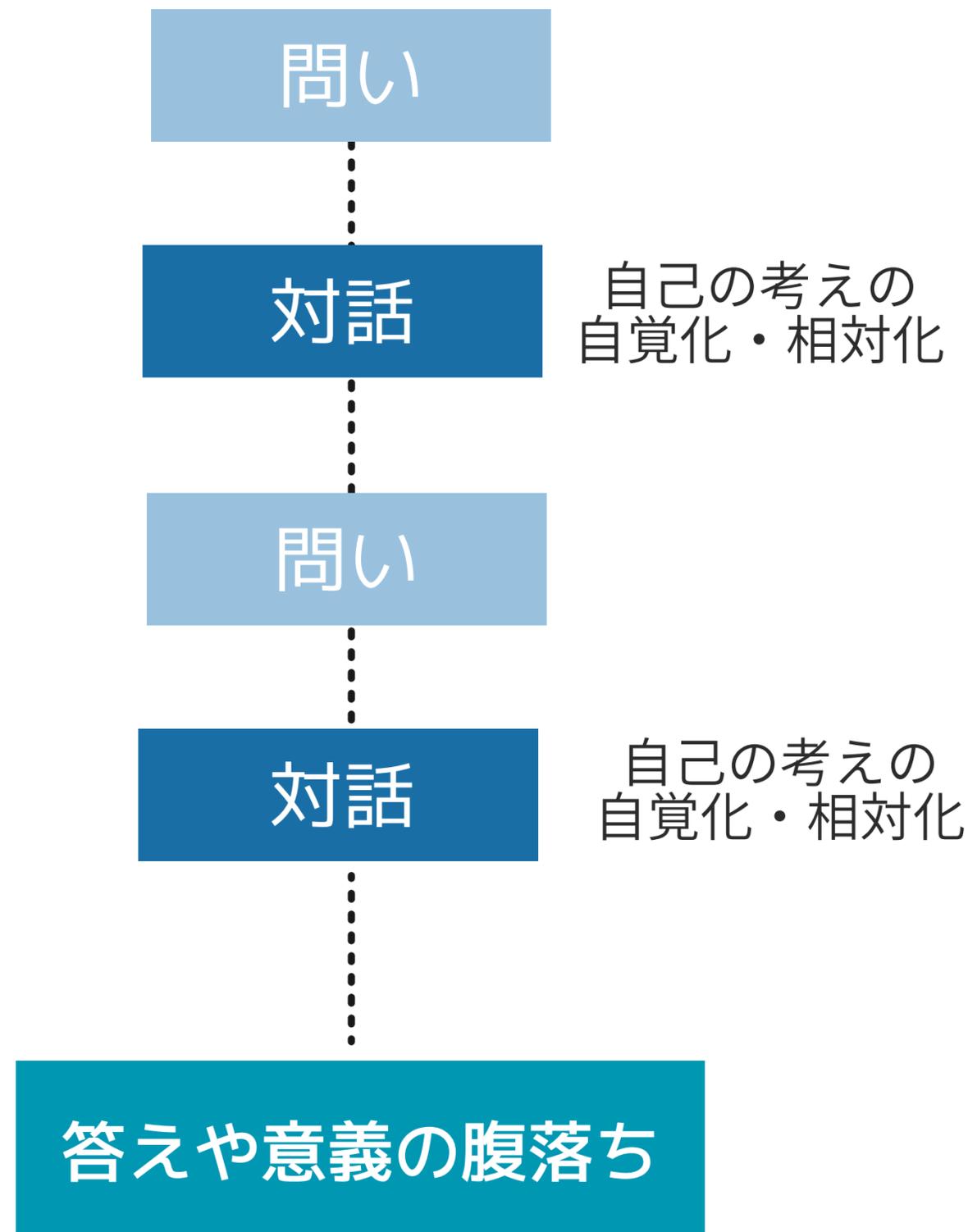
→課題意識をもつ→見通しをもつ



「問い」が重要！！
「学びのプロセス」も重要！！

——
問いと対話を大切
にした実践

ワークショップ型の
HR活動・授業実践



HR活動における「問い」例



「学ぶ」とは？
「学ぶ」の類義語・対義語をあげて考えてみよう！



何のための修学旅行か？
修学旅行を通して、どんな力をつける？



「リーダーシップ」とは？
どんなリーダーだったらうれしい？
どんなリーダーになりたい？



コロナ禍、今、ここで学ぶ意義は？
オンライン教材もたくさんあるけど



卒業するとき、どんな自分でいたい？
そのために、今何ができる？



「Well-being」についてあなたの解釈は？
2030年は、どうなっていたい？

高校生が導いた これからの「学び方」

学級開きLHRでの実践



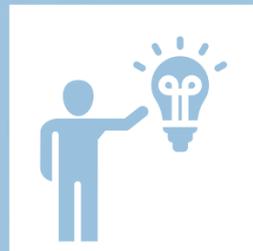
- ゲーム感覚で,意欲的にやってみる!
- 探究心, 好奇心を大切に, いっぱい経験する!
- 自分から興味をもって学ぶ。
- 考える。教える。試す。
- 目標をたてる。友達と教え合う。掃除する。
- 集中する。考える。楽しむ♪

学校

「教育目標」

教育方針(1)

思考力・表現力を養い，主体的に探究し，
他者と協働して学習できる。



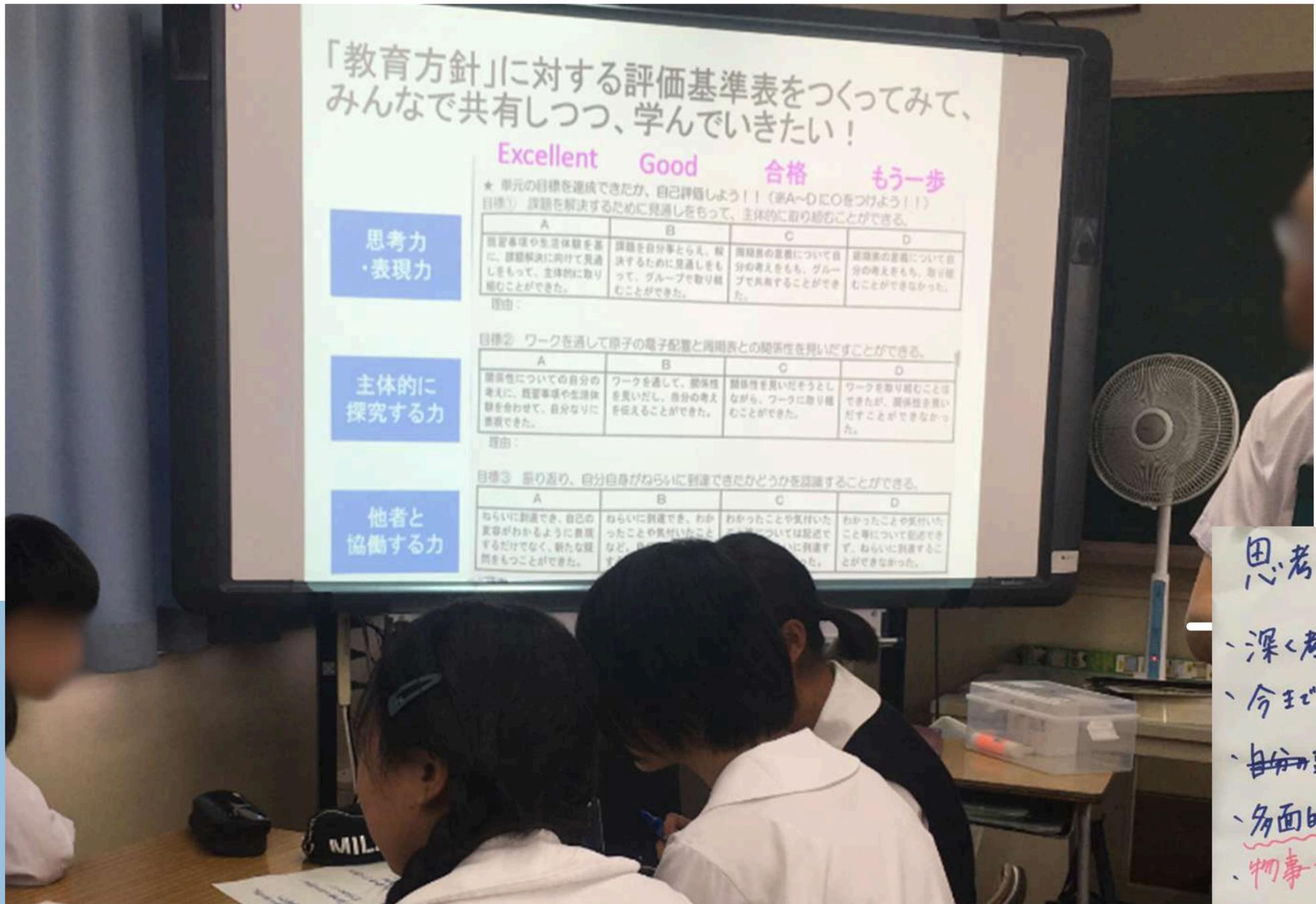
- 「主体的に探究する」
って？
- 「自主的」とは何が
違うの？



- 「思考力・表現力」
ってどんな力？



- 「他者と協働して学習
する」ってどういう学
び？



生徒たちが考えた評価基準

各グループが、「思考力・表現力」「主体的に探究する力」「他者と協働する力」のうちどれかを担当し、クラスで教育方針に対する評価基準を作成

思考力、表現力

- 深く考える力
- 今までの経験を活かす力
- ~~自分の~~頭の中のイメージを言葉などに表す力
- 多面的に考える力
- 物事を色々な角度から

合格

A 自分の考えを分かりやすく説明できる

B 自分の考えを口には出せなくても伝わりやすい。

C 自分の考えを口に出さなくてもあるが

D 自ら考えようとしていない

S ~~考え~~
多面的に考え、その考えを論理的に説明できる。

HR活動を公開

1学期の振り返り

1学期間のこころのつぶやきは？

4月8日の”今の気持ち”からどう変化した？

「今やりたいこと」「まだまだできること」は？

夏休みの実践に向けて自分の一歩を宣言！

見える化！

1学期の振り返り

2学期は、
 授業の毎日を過ごすこと
 が大切です。
 野球に疲れた
 けれど...
 授業に過した
 授業は、
 休みがほしい
 ですね。

夏はダイエットの季節

毎日楽しいー!!
 笑顔いっぱい
 学校生活を送れた◎
 勉強は大変だけど
 皆と一緒から頑張れた
 (いっぱい寝たけど)

2学期は...
 勉強、部活...
 にもっと積極的に
 参加したい!!

朝強くの子

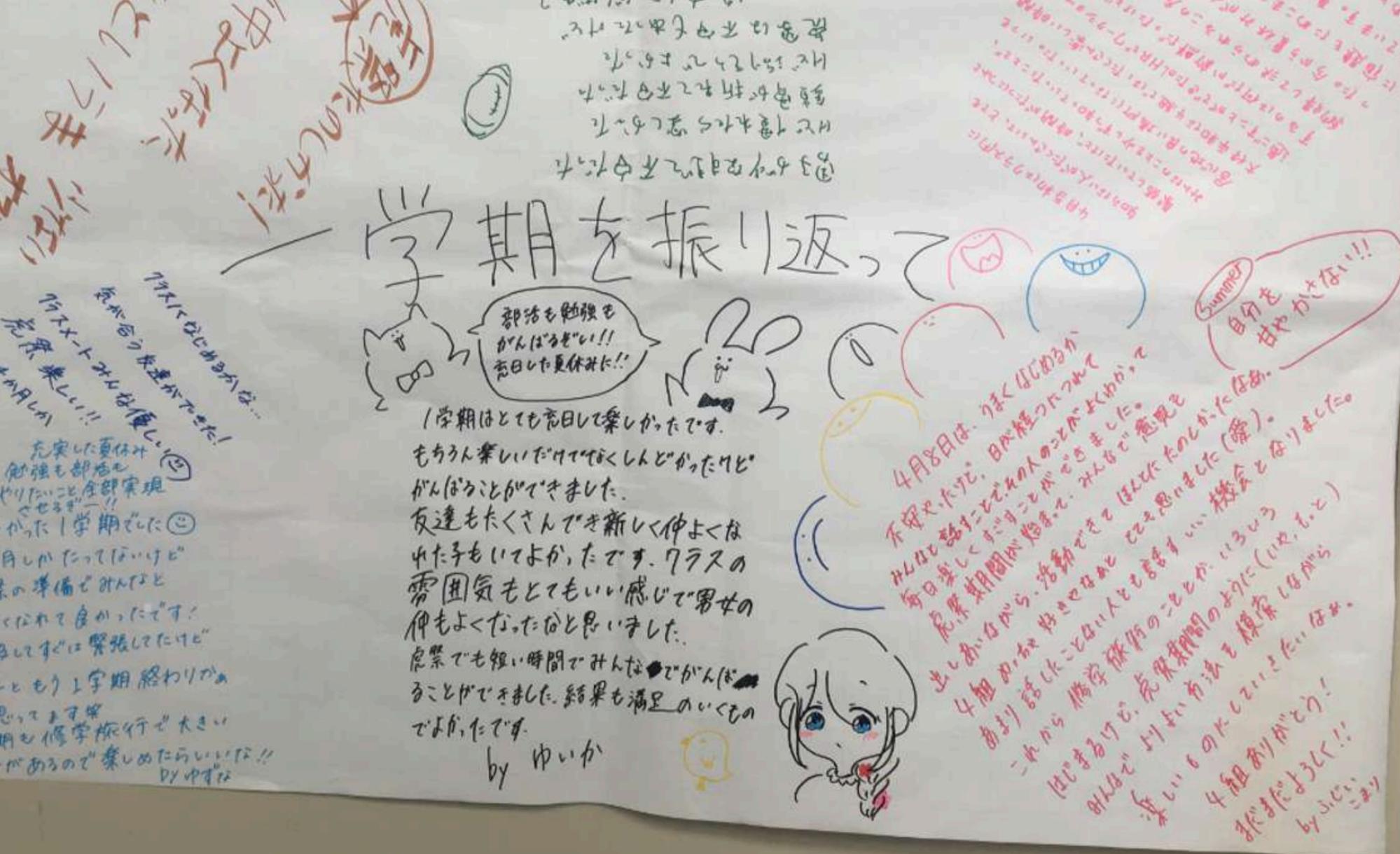
色んな人としゃべって
 とても楽しめた!!
 勉強は思ってたほど
 11月分、たけど、なんか
 充実したかなと思う。

→ 2学期
 遅刻ゼロ!!
 授業中寝る。

今やりたいこと
 課題が終わりたい!!!
 夏休みに
 勉強したい
 遊びたい

「仲良しの
 いなぐと緊張」
 「神」
 周心地のいい
 勉強が
 遊びたい

Power up
 先生
 先生



保護者懇談会中，教室廊下に掲示
お待ちしております際見ていただけるように



子どもたちは，先生や親や大人たちが伝えなくても，よくわかっている。
引き出す工夫を・・・



「酸性酸化物と環境問題の つながりをもとに問いを立てよう」



QFT(Question Formulation Technique)ワーク

参考文献：たった一つを変えるだけ：クラスも教師も自立する「質問づくり」

- ① 酸性酸化物と環境問題とのつながりから立てた問いをグループでシェアしよう！ **発散**
- ② 自分が立てた問いを改善してみよう！
「Close Question」と「Open Question」に分類しよう。
「Close Question」を「Open Question」に変換しよう。
- ③ 改善した問いに優先順位をつけて、選んだ理由を考えよう！
- ④ グループでのNo.1の問いを発表しよう！
- ⑤ 問いづくりのプロセスを振り返ろう！ **振り返り**

化学基礎「酸性酸化物と環境問題」

ねらい：酸性酸化物と環境問題とのつながりを見だし、問いづくりを通して、多様な解釈があることを理解し、自分の在り方生き方を考えるきっかけとする。

非金属元素
C, S, N, P
↓ O₂ 酸化
酸性 酸性酸化物
CO₂, SO₂, SO₃, NO₂, P₄O₁₀
↓ H₂O
富栄養化
H₂SO₄, H₂SO₃, HNO₃
酸性雨
地球温暖化

金属元素
Na, Mg, Cu, Fe
↓ 酸化
塩基性 酸化物
Na₂O, MgO, CuO, Fe₂O₃

<自分の問い>
・富栄養化って何が起るの？
・なぜ水と結合して酸性雨になる？

生徒のワークシート

収束

「問いづくり」のプロセスを振り返ろう！

最初に挙げた疑問は、教科的だったけれど、グループで話し合う中で、自分たちの生活に深くつながっていることに気づき、身近なところへ目を向けられたのがよかった

環境問題に対して、否定的に捉えるのではなく、肯定できることもあるのではないかと感じた。何に対しても、見方を変えることが重要なのではないかと考えた。

「問い」をつくるのがとても難しかった。小学校の道徳のように、自分の内面や行動を考えればよかったのかと思った。今後は、自分の生活に結び付けて物事を捉えていきたい。

ひとつの問いに対して答えが分かると、またさらに、そこから新たな疑問が生まれてきておもしろいと感じた。これからも、自分の疑問に向き合っていきたい

問いの変容から、自分の考え方や大切にしていることがわかった。このワークを通して、人の意見との違いを大切にすることでより学びが深まると思った。これからも「違い」を大切にしていきたい。

問いづくりを通して、自分が最初に考えた問いは浅いものだったが、グループのメンバーと話し合っただけで深めていくことができた。こういった授業を続けていけば、「力」がつくと実感した。

ポジティブ・ アプローチと の出会い

FAJ中部支部定例会にて

学級開き用に作成した
フォーマット

※対象者によって、真ん
中の表現を変えて実践

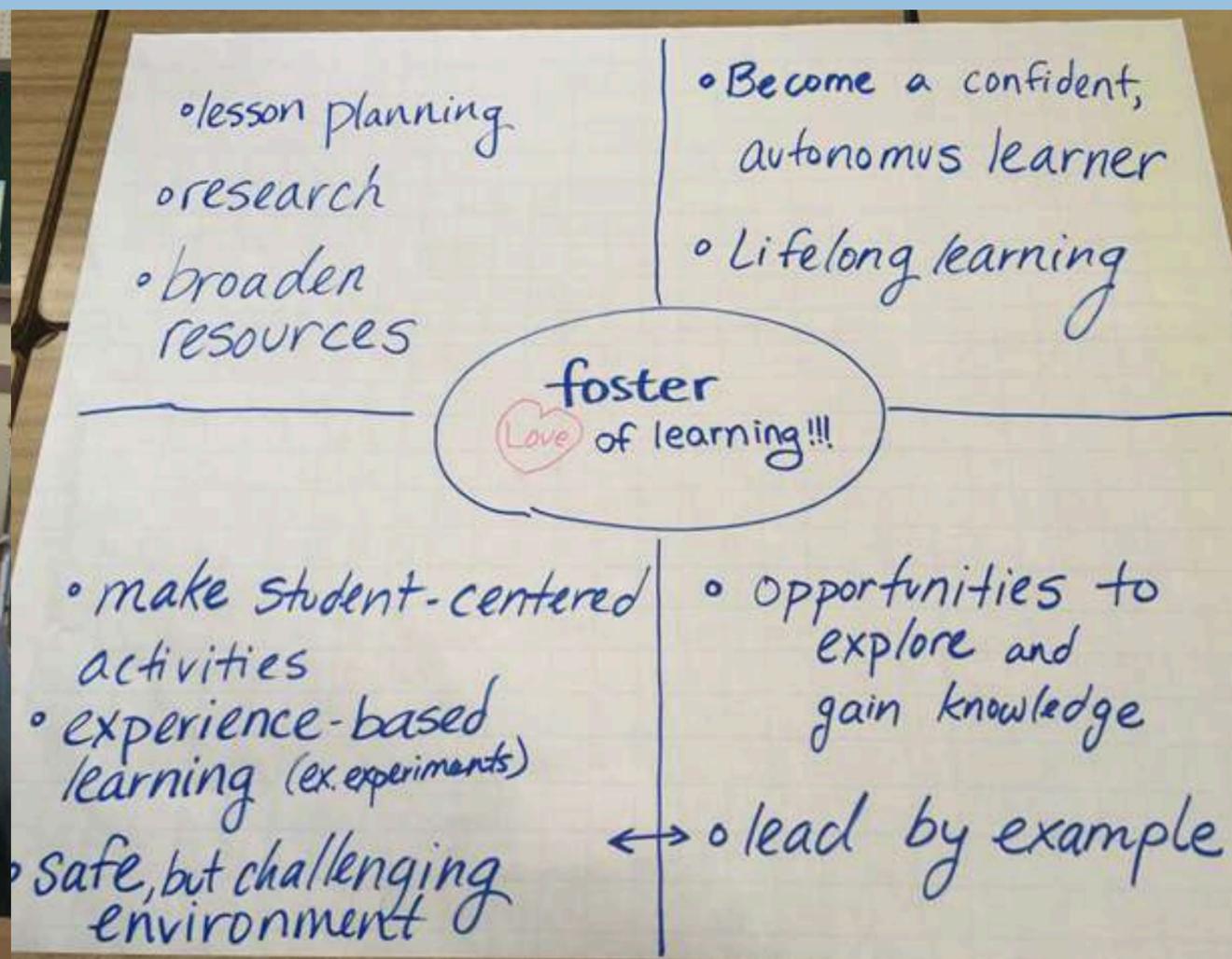
<p>④明日からできることは？</p> <p>一人ひとつは、できることを見つけよう！ 効果ではなく、やる気と現実性で考えてみよう！</p>	<p>①達成するとどんないいことがある？</p> <p>達成した時の気持ちをあげてみよう。 さらに、上位の目的は何？</p>
<p>○○○したい</p>	
<p>③さらに達成に向けてできることは？</p> <p>到達度を、あと1%だけでもアップするために、できることは？ 成功の場合→続けよう！ 失敗の場合→やり方を見直そう！ 未着手 →やってみるしかない！</p>	<p>②今までどんなことをやってきた？</p> <p>過去や現在の取組をあげてみよう。 今の時点で、到達度何%？</p>

到達度
○○%

2020.4.2@勤務高校

学年団・IB・生徒会・SSHでチームを結成

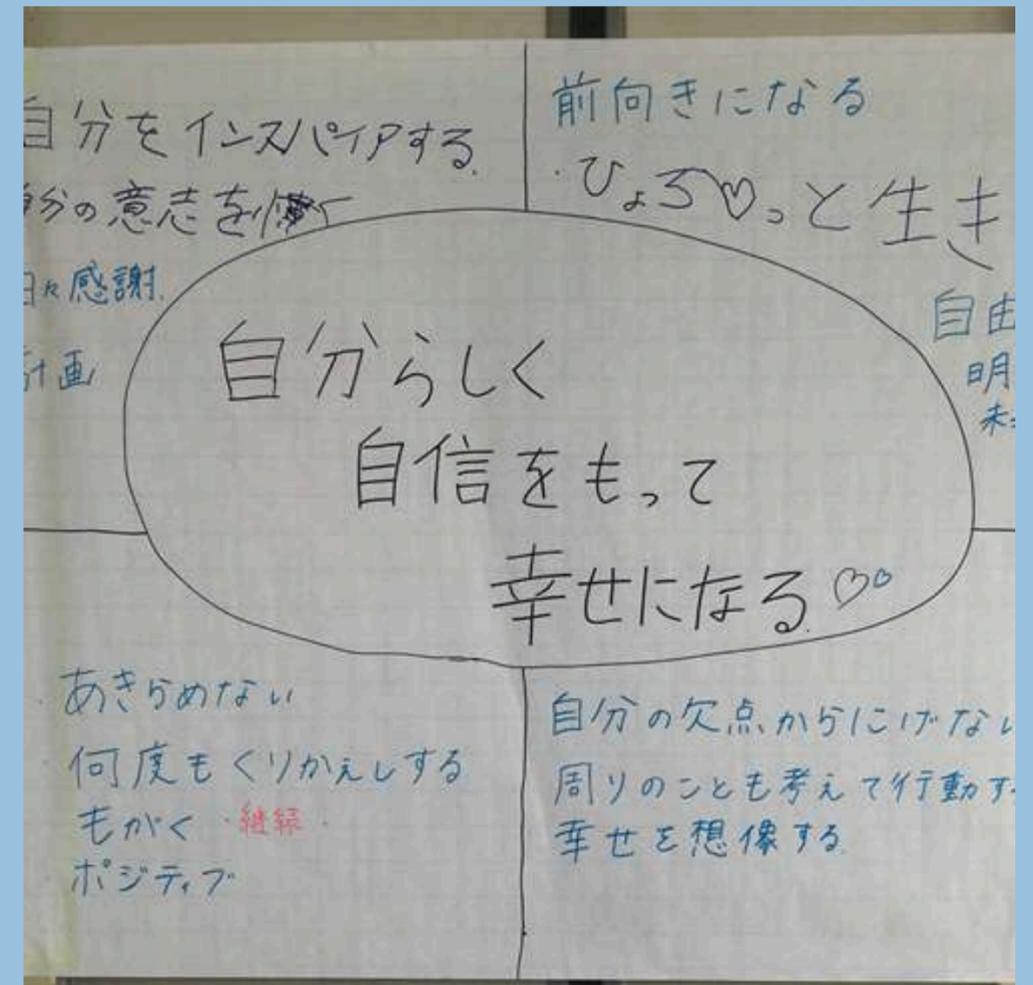
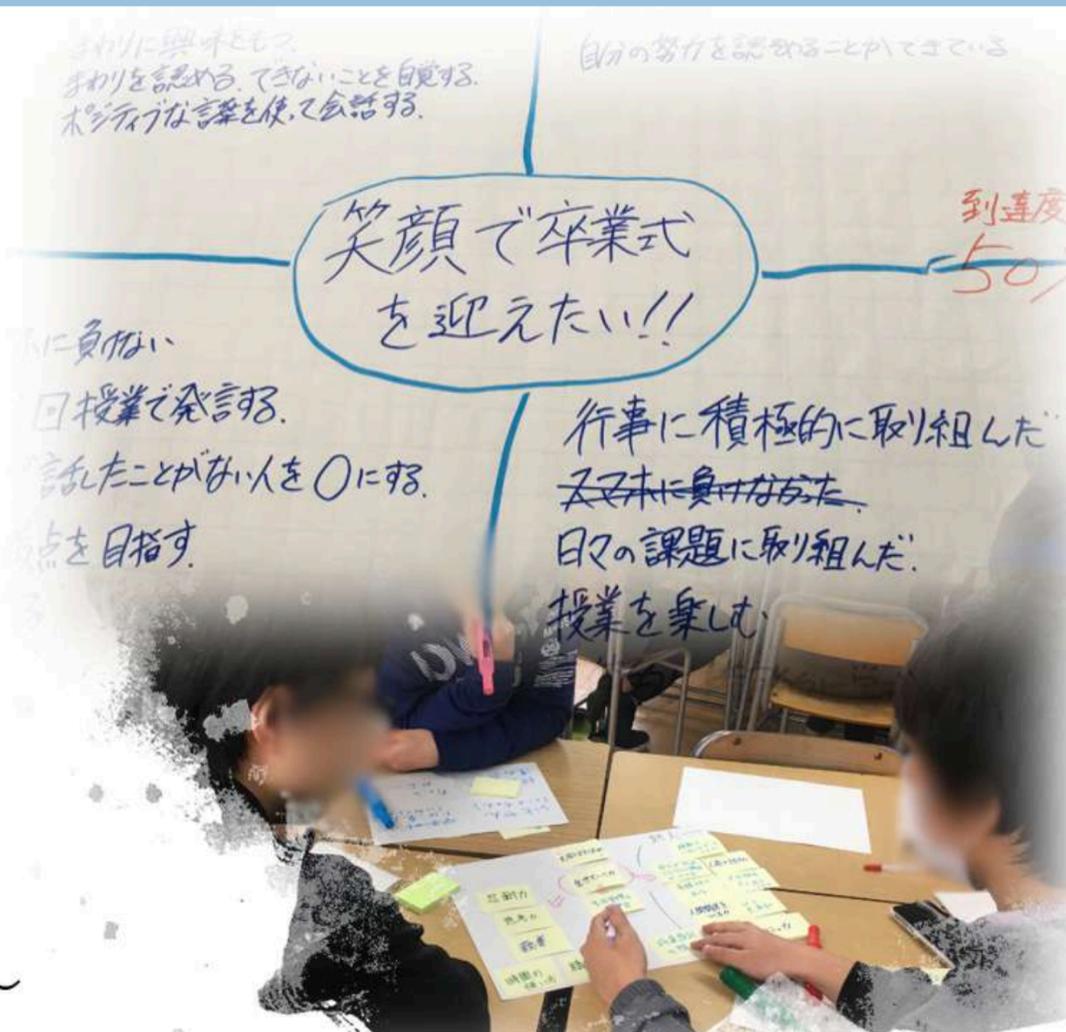
～ポジティブ・アプローチにChallenge～



第3学年 Workshop

@ 8/9 PM

- ①チェックイン～自己紹介ワーク～
- ②グループで対話タイム
～ある大学の入試問題から～
- ③卒業時にどうなっていたいか！？
受験後、卒業後にやりたいこと、
ありたい姿を考えよう！
- ④チェックアウト
～明日からできることを宣言！～



学年全体で、希望者を募って開催。くじ引きでチームを決定。最後に発表。学年の廊下に掲示。

- ・積極的に会話する
- ・寝る前に自分をほめる
- ・「イヤ」や「かな」しあわせを見つける
- ・1日1つ新しいことをする
- ・毎日何かを続ける
- ・自信が持てる
- ・ポジティブシンキング
- ・人間関係良好
- ・チャレンジできる

自己肯定

- ・思ったことを口に出す
 - ・身のまわりのニュースに興味をもつ
 - ・友達の話にも耳を傾ける
 - ・発表の機会をみつける
 - ・当事者意識
 - ・自分の考えをもつ
 - ・緊張しなくなる
 - ・社会に出た時に堂々と
 - ・やりたいことがみつかると
 - ・吟味する
 - ・クラスの中で発表
 - ・自分の気持ちを伝える
 - ・やりたいことを探す
- 精神面を鍛え
自分の意志をもった人間

ポジティブ・アプローチのおススメ

ポジティブ・アプローチ

ありたい状態が内側から出てくる

強み・価値を発見する



どうありたいか、最大の可能性を描く



現実的達成状態を共有する



新しい取り組みをはじめめる

ギャップ・アプローチ（問題解決アプローチ）

あるべき基準が外側から出てくる

問題を特定化する



原因を分析する



解決方法を検討する



アクション・プランを作成する

東京学芸大学 高校探究プロジェクト
オンラインセミナーの開催

年度開きに向けた リーダー・ファシリテーター のためのワークショップ



先生方ご自身が
ポジティブアプ
ローチのプロセ
スを体験



東京学芸大学
高校探究プロジェクト

2022年3月17日(木), 3月26日
14:00 ~ 16:00
※同じ内容で開催します。

夏の校内研修に 向けたリーダー・ ファシリテーターの ためのワークショップ

開発したプログ
ラムをファシリ
テーターとして
実践



東京学芸大学
高校探究プロジェクト



Design
PROCESS

研修プログラム 開発Workshop



詳細はWebページから

夏の校内研修を見据えて、**研修プログラム**をデザインしてみませんか。
チームによる研修デザインのプロセスを体験できるワークショップです。

開催日時：2024年6月23日（日）10:00～12:00

形式：Zoomによるオンライン開催

対象：高校教員の研修に関わる指導主事等、
校内研修等の担当の方、
研修デザインに関心がある方等

Appreciative Inquiry (AI) の手法に着目して、 ワークショップ型研修プログラムを開発

AIとは、価値を見つける質問を投げかけることで、人が持っている良いところや、組織の持っている強みを発見する手法。

「問いかけ」によって、関係する人の当事者意識を引き出し、ポジティブな方向にチェンジをもたらすエネルギーを創りあげる手法。

東京学芸大学紀要 総合教育科学系 74: 658 - 665, 2023

ポジティブ・アプローチによるワークショップ型教員研修の実践

藤村 祐子*¹・登本 洋子*²・牛 玄*¹・西村 圭一*³

先端教育人材育成推進機構

(2022年9月26日受理)

内容	具体的な取り組み
研修のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・「傾聴」「承認」「質問」を大切にする ・安心・安全な場づくり
チェックイン	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク ・自己紹介ワーク (実は、私は〇〇が好き) ・ワークショップの流れを確認
ワークⅠ 教科を学ぶのは何のためか？	<ul style="list-style-type: none"> ・「担当教科を学ぶ意義」をどのように生徒に伝えるのか、個人で考え、言語化する ・グループで共有し合う
ワークⅡ 教科の授業を通してどのような生徒を育てたいか？	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目的を基に、「高校卒業時に、生徒にどのような姿になってほしいか」を個人で考え、付箋に書き出し、グループで共有する ・教科のキーワードをピックアップし、「教科を通して育てたい生徒の姿」を形成する
ワークⅢ 育てたい生徒の姿(目標達成)に向けてどのような取り組みができるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・目標、現状、行動の3段階で、模造紙にまとめる(図2) 目標1: ワークⅡで導いた、教科を通して育てたい生徒の姿 目標2: 目標を達成すると生徒にどんないいことがあるか 現状1: どのような取り組みを行っているか 現状2: 現時点の達成度 行動1: 目標達成に向けて、さらにできること 行動2: 明日からできること ・全体で共有する
チェックアウト	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で振り返り、明日からできることを宣言する ・まとめ

先導的科目開発

教員養成フラッグシップ大学の指定に伴い
先導的教職科目（5科目）の開発

学部生（3回生）対象：

1単位（7回）、**必履修科目**、オンライン活用

- ① 「社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン」
- ② 「**学びを支えるファシリテーションの技法**」
- ③ 「教師のレジリエンスと自己管理能力の育成」
- ④ 「教育のためのデータサイエンス」
- ⑤ 「チーム学校と多職種協働」

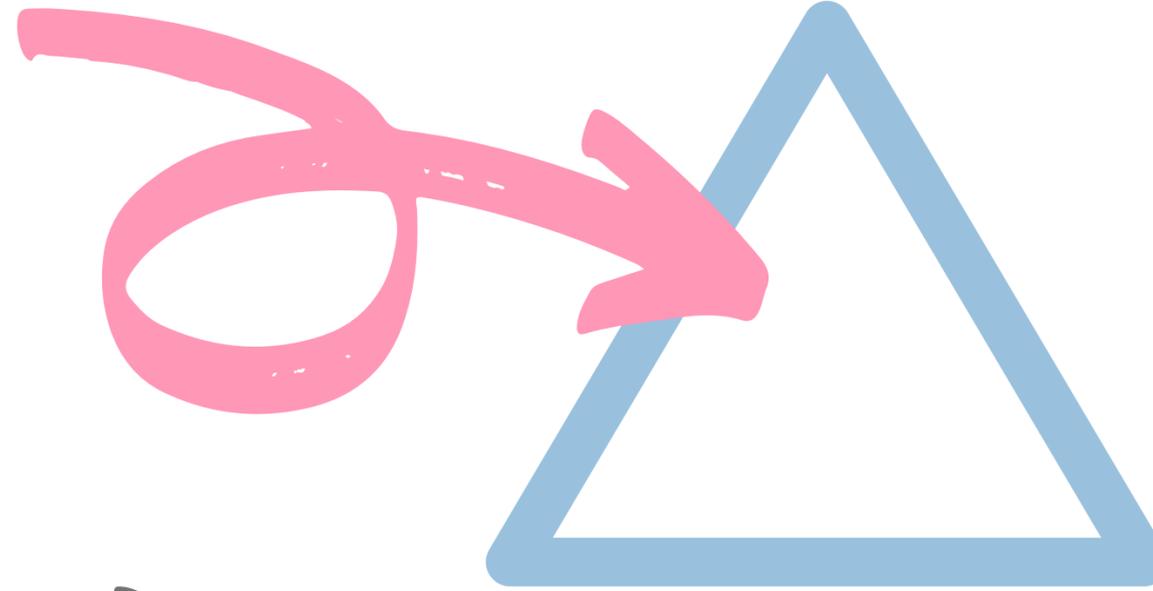
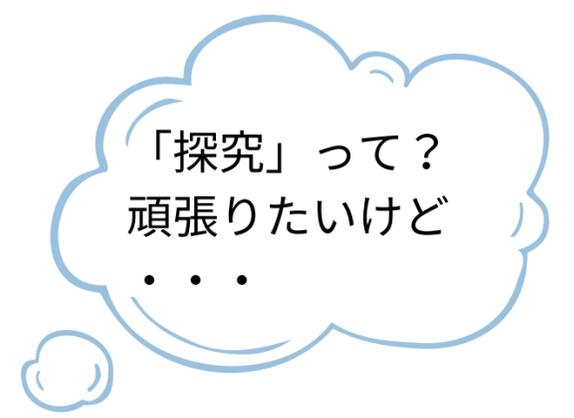
学びを支えるファシリテーションの技法

子どもの対話を支える教師

「学校支援コーディネーター」 の育成



高校生

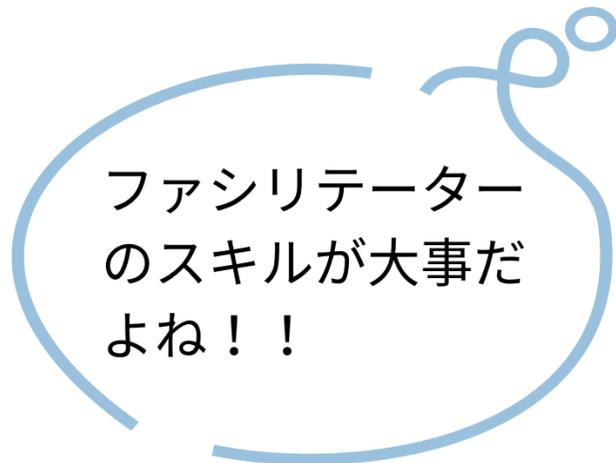


学校・教職員

サポーター



大学生・大学院生，**NPO**，
行政，教育関連会社，産業界





自分を信じる



勇気をもつ



無理はしない

『場をつくり 場を守り
場の力を信じ 場に委ねる』

大切なのはファシリテーター
としてのあり方 **(Being)**

